

ミカン生育情報

千葉県
平成 21 年 1 月号

平成 20 年のまとめ

平成 20 年の気象

1～2月の平均気温は平年値より低かったが、際立った低温はなかった。3月は平年よりやや暖かかったものの4～6月も平均気温は平年値より低かった。7～10月はほぼ平年並み、11～12月は平年より暖かかった。年間の平均気温は15.3℃で、平年より0.3℃低く、前年より0.5℃低かった。

降水量は、1月から3月まで平年を下回った。3～6月は平年より多かった。梅雨明けは7月19日ごろで平年より1日早く、梅雨明け後の降水量は顕著に少なく7～8月の降水量は平年の27%であった。9～12月の降水量は平年の97%であった。台風の上陸は一度も無かった。年間降水量は平年並、前年の117%だった。

日照時間は、2～3月、7月、12月は平年より多く、その他の月は平年を下回った。年間の日照時間は平年の98%だった。

表1 平成 20 年の気象（暖地園芸研究所）

月	平均気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (時間)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	5.1	6.0	6.8	44	96	96	121	169	113
2	4.7	6.3	8.3	67	92	75	203	151	171
3	10.1	9.1	10.1	144	191	97	195	154	184
4	13.6	13.9	12.8	274	172	129	153	166	162
5	17.2	17.8	18.1	272	172	183	147	186	213
6	19.6	20.9	21.0	433	233	105	104	135	210
7	24.7	24.3	22.8	16	190	386	206	175	97
8	25.8	25.9	26.6	79	161	7	206	220	*
9	22.7	23.0	23.4	190	250	287	133	146	137
10	18.3	18.0	17.7	242	249	216	130	137	128
11	12.8	13.3	12.6	147	154	58	130	144	140
12	9.4	8.6	8.8	135	81	114	180	166	179
平均/合計	15.3	15.6	15.8	2041	2042	1749	1907	1948	*

病害虫の発生

春先のクワゴマダラヒトリの発生は少なかった。夏期少雨だったためミカンハダニの発生は多かった。ミカンサビダニによる加害は、毎年散見されるようになった。カメムシ類による果実被害は平年並みだった。黒点病、そうか病の発生は平年並みだった。褐色腐敗病の発生は見られなかった。4～5月に暴風雨がかったため、一部の園でかいよう病が発生した。

果実の生育

暖冬のため春先の樹勢は良好だったが、2年連続の豊作年の後であり、本年は裏作だった。発芽期は、早生温州が4月9日、普通温州では4月13日といずれも平年並みだった。開花盛期は、早生温州が5月16日、普通温州は5月20日といずれも平年より2日遅かった。

収穫期の果実の大きさは、早生温州、普通温州ともに、横径は平年並み、縦径は96%だった。一果重は、早生温州が平年の92%、普通温州は91%だった。小果の傾向は、7～8月の少雨が最大の要因だが、この他に、大き過ぎず扁平な形の果実に揃えるための着果管理方法の成果が出ていることも理由である。

果実品質は、7～8月が少雨だったため、糖度、酸度ともに平年より高い傾向であったが、着果量の少ない園では糖度が上がらなかった。また果皮が薄かったため果肉歩合は平年を上回った。台風による被害はなかった。

表2 平成20年の果実品質

種 類	横径 (cm)		縦径 (cm)		一果重 (g)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
早生温州	6.5	6.5	4.8	5.0	104	113
普通温州	7.4	7.4	4.9	5.1	129	142

種 類	着色程度		糖度 (Brix%)		酸度 (%)		甘味比		果肉歩合 (%)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
早生温州	7.4	7.9	10.3	9.4	1.19	1.11	8.8	8.7	83.2	81.5
普通温州	7.0	8.4	9.9	10.0	1.09	0.97	9.1	10.6	75.9	75.1

注1) 早生温州 (興津早生) は平成20年10月28日、普通温州 (大津4号、青島温州) は11月26日に調査した。いずれも南房総市と暖地園研の3園地の平均値。

注2) 平年値は平成5～19年の平均値。注3) 甘味比=糖度/酸度

1月以降の栽培管理

整枝・剪定 剪定は、花が多いと予想される樹では切り返し剪定を主体に早めに行い、花が少ないと予想される樹では間引き剪定を主体とした弱めの剪定を遅く行う。

春肥の施用 早生温州、普通温州ともに3月下旬に、窒素、リン酸、カリをそれぞれ10aあたり成分量で16、13、9kg施用する。有機配合などの緩効性の肥料を使用する。

病虫害の防除 剪定時には黒点病やそうか病、かいよう病の防除のため、枯れ枝や罹病枝葉を除去する。夏期の乾燥によって樹が弱った園では、マシン油を散布する際に液肥を混用するとよい。4月には、芽の長さが1cmくらいの時期にそうか病の薬剤防除を行う。5月には、開花期にコアオハナムグリやアブラムシの防除を行い、落花直後にそうか病や黒点病の防除を行う。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 果樹研究室 電話 0470-22-2961

果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生産技術に関する情報」でもご覧いただけます。 <http://www.pref.chiba.lg.jp/nourinsui/>